

平塚隆治氏

勲四等に叙せられる

技術部化学課

元地質調査所技術部化学課長 平塚隆治さんが昭和47年度秋の叙勲で勲四等瑞宝章を授与されました。11月8日その伝達式が行なわれましたが そのあと夫人同席で地質調査所に見えられ 所長はじめ関係者にあいさつされました。

平塚さんは現在石油資源開発株式会社技術研究所におつとめですが 石油成因論というむずかしいテーマと取り組まれ これに若い研究者も及ばないような情熱を傾けておられます。72歳とは思えぬつやつやしたお元気な顔色で研究の抱負を語り大いに意欲を燃やしておられました。平塚さんが 当時はまだ農商務省の所属であった地質調査所に入所されたのは大正9年ですから 職を辞された昭和30年まで 実に35年の長きにわたって地質調査所に献身されたわけです。この間一貫して専門の化学 特に分析化学の知識と経験を最高度に活用されて国の鉱工業技術開発に また国の工業標準化事業などに尽力されました。戦前は専ら工業原料用鉱物調査に参画されて各種鉱石の品位を決定するための化学分析を担当され きわめて多数の調査試料を迅速に処理して正確なデータを出し 調査の成果を一層価値あるものとなりました。当時は鉱石類の化学分析に関する技術は今日のように進歩していない時代で もちろん規格に定められた方法などもなく 自らの手でその技術を開発しなけ



平塚隆治氏

ればならないものもたくさんあったわけですが その困難を克服され それらの成果については 今日でもなお引き継がれているものがたくさんあります。

戦争中は東南アジア地域の地下資源の調査要員として駆使されましたが 戦後は自ら陣頭に立って戦災で失

った分析設備の再建に奔走されながら 日本工業標準調査会専門委員として亜鉛地金 マンガン鉱石 鉄鉱石などの分析法のJIS改定に尽力されました。中でも鉄鉱石の分析法の改定は非常に大幅なもので きわめて早い速度で進歩しつつあった分析化学のもっとも新しい技術を取り入れ 全く面目を一新したものでありましたが 平塚さんが委員長を代行してこの困難な仕事を成しとげられたと聞いております。

昭和24年地質調査所の機構が改正されると同時に初代の技術部化学課長として豊富な学識経験と卓越した技術をもって後進の指導と育成に専念されましたが この間平塚さんは地質調査所の化学課のあり方について再検討の必要性を唱えられた先駆者であります。すなわちその当時までは化学課の業務といえば単なる所内の依頼分析だけに終始していたのですが もっと積極的に地質

鉱床 燃料などの関係部門と密着した協力体制をとりながら仕事を進めてゆくことが必要だと口ぐせのように言っておられました。今日の化学課の姿が決してベストとは思っていませんが少なくとも時代の要請とともに現在のような姿に変わってきたことを考えますと 平塚さんの先見の明の鋭さに感嘆させられます。

ともあれ今回の受賞に心からお祝いを申し上げるとともに 地質調査所に献身された功績の一端を披露しました。

現住所 武蔵野市吉祥寺北町3の7

平塚隆治

Tel. (0423) 51-3651

